

「適正な計画提出」のための よくある事例・改善例について

平成29年9月
電力広域的運営推進機関

当機関は、計画提出に関し、不適切な計画を提出された事業者さまにメールによる注意喚起を行い、改善を促す活動を行っております。

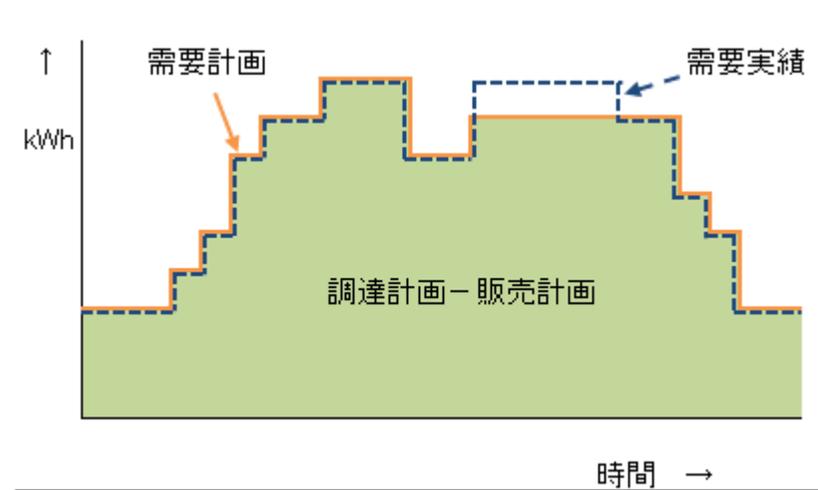
これらの活動の中でみられた「よくある事例」と「改善例」をとりまとめましたので、ご紹介いたします。

適正な計画提出にお役立てください。

(注) 事業者の皆さまの事業形態やシステム化の状況により、あてはまらない事例があります。

- 1 需要計画
- 2 調達計画
- 3 需給管理

【凡例】

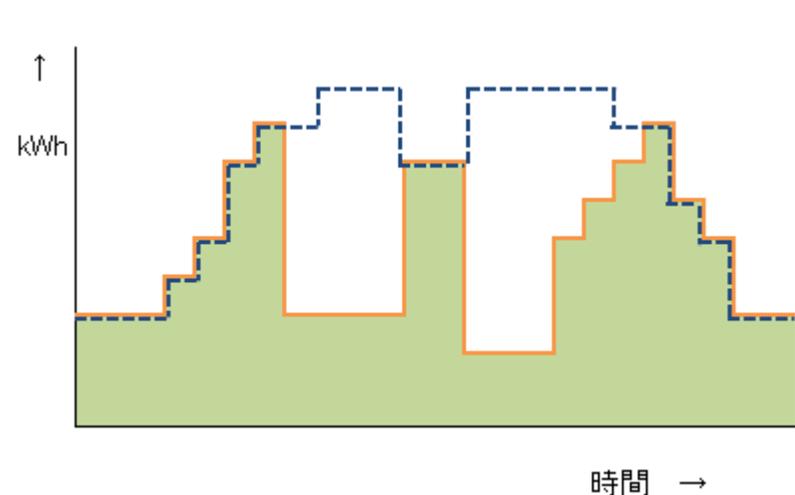


1 需要計画



事例

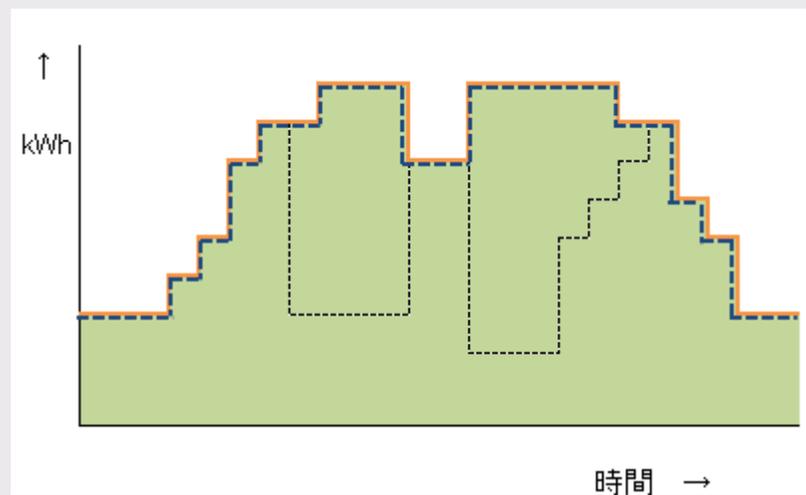
調達過不足を需要計画で調整し
不一致が発生しないことを優先
するシステムとしていたため、
不自然に屈曲した需要計画を提
出していた。



改善例

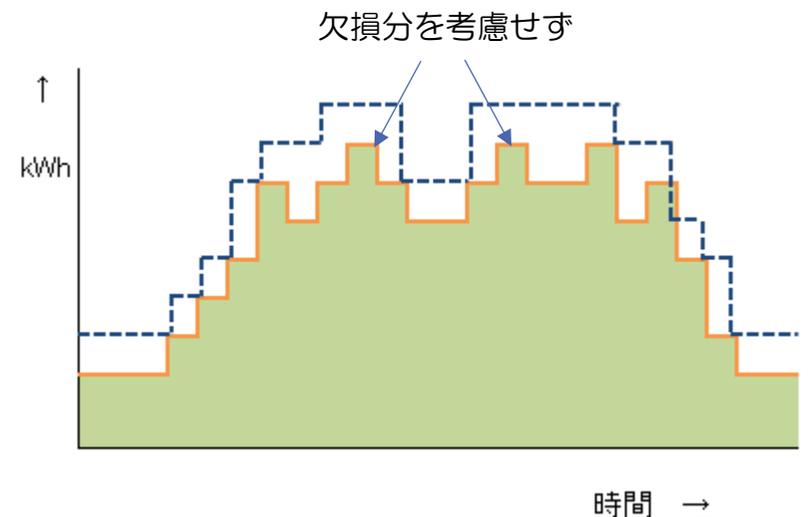
(システム改修前)
予測した需要計画と調達計画の乖離を都度チェッ
クし、時間前で不足分を調達するようになり、
スポット入札価格を日々調整して調達不足が起き
ないようにした。

(システム改修後)
需要計画が調達計画に自動調整されないようシ
ステム改修を行った。また、需要計画と調達計
画の乖離を都度チェックし、時間前で不足分を
調達するようになり、スポット入札価格を
日々調整して調達不足が起きないようにした。



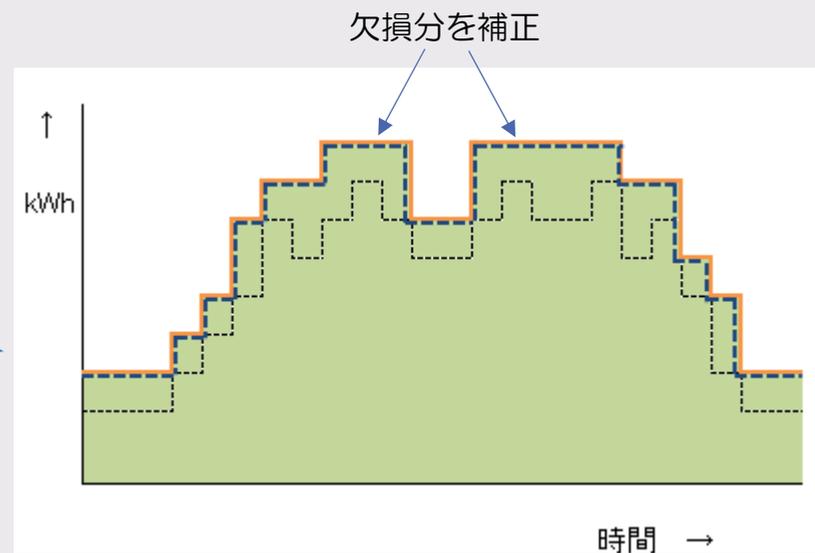
事例

同時同量支援データの欠損があったが、欠損分を考慮していなかったため、需要実績と比べ低い需要計画となっていた。



改善例

欠損分を前日、もしくは前週の同じ曜日の需要実績などの直近の実績値と比較するようし、乖離が大きい場合は補正入力するようにした。



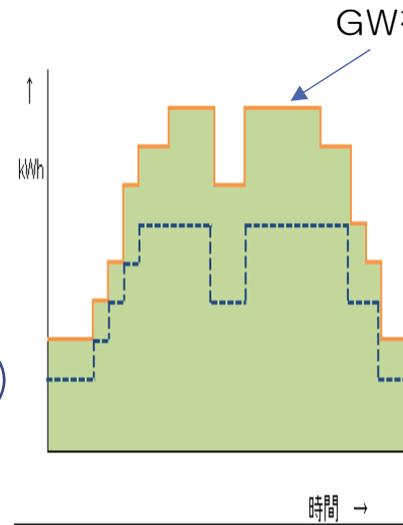
事例

土日、祝日の需要計画を平日の需要実績をもとに作成し、大きく外してしまった。

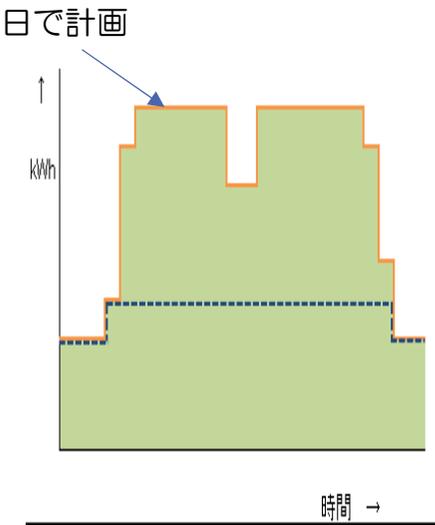


ゴールデンウィークの需要計画を直近の需要実績をもとに作成し、大きく外してしまった。

(①業務用、家庭用)

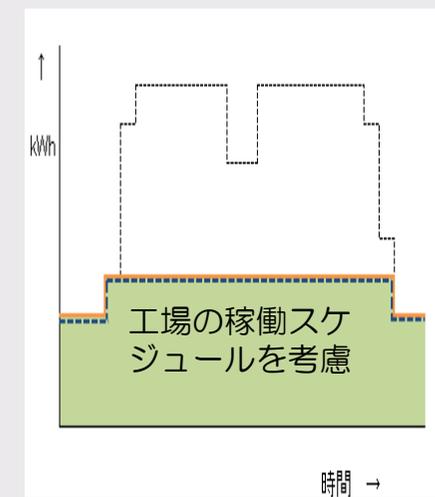
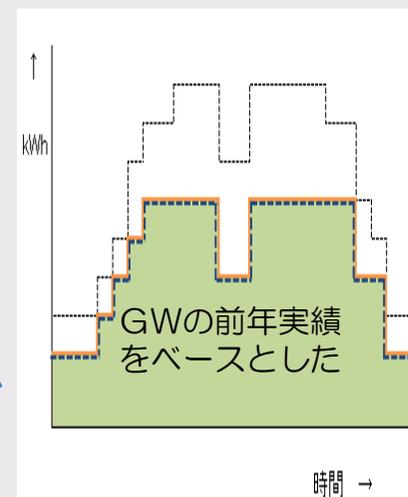


(②工場用)



改善例

- ① (業務用・家庭用のケース) 土日、祝日は前週の実績、ゴールデンウィーク、お盆休み、正月休みなどの特異日は前年実績を参考にしたり、スーパーなどの大口需要家からは稼働予定を入手するようにした。
- ② (工場用のケース) 需要家から、工場稼働日カレンダーを入手し、かつ試運転などの特異日は、分かった時点でその都度、事前連絡をいただくようにした。

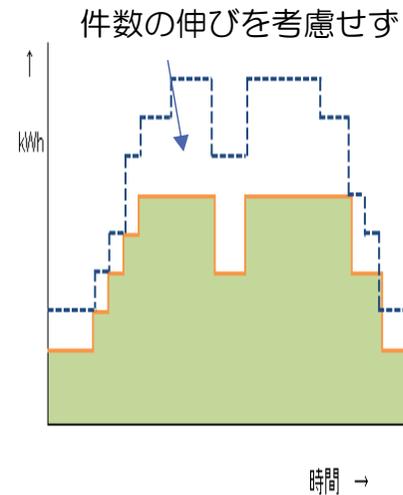


事例

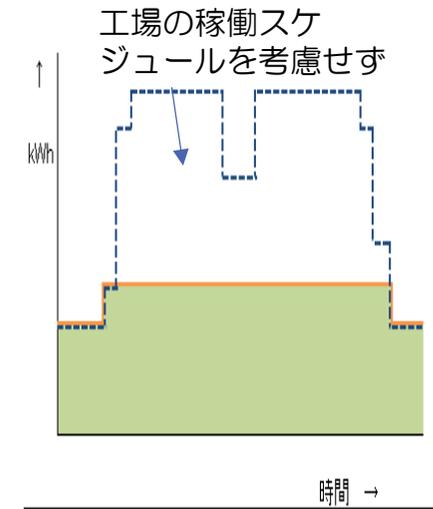
努力はしているが、需要の予測精度が上がらず、困っている。



（①業務用、家庭用）

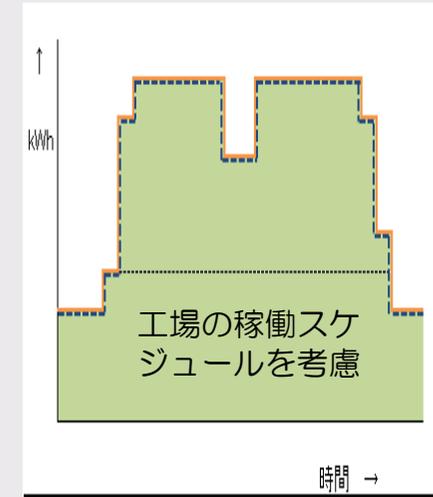
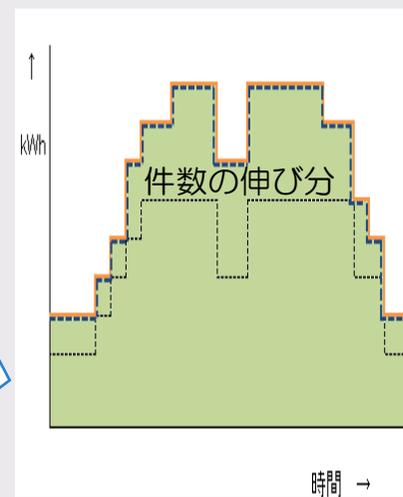


（②工場用）



改善例

- ①（業務用、家庭用のケース）件数の伸びや気温などを新たに調整係数として用い、予測精度を向上させた。また、ずれの要因を分析したり、大口需要家から稼働予定を入手するようになった。
- ②（工場用のケース）需要家から、工場稼働日カレンダーを入手し、かつ試運転などの特異日は、分かった時点でその都度、事前連絡をいただくようになった。

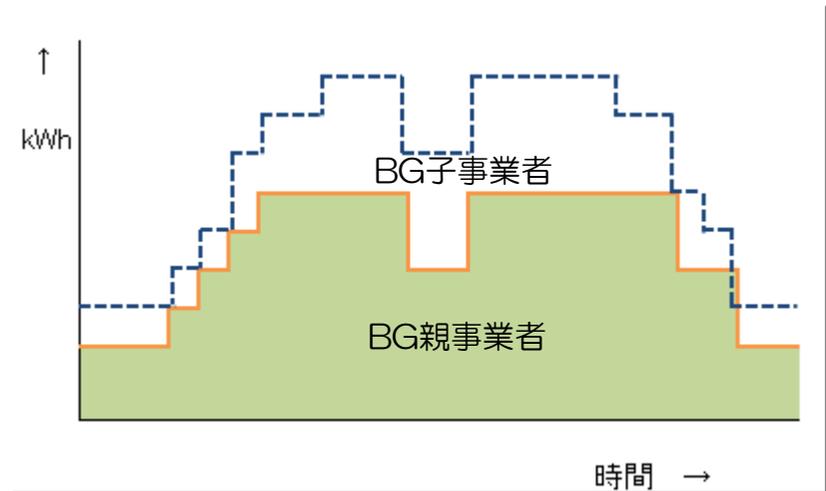


事例

需要BGの子事業者の需要分を
需要計画に含めていなかった。

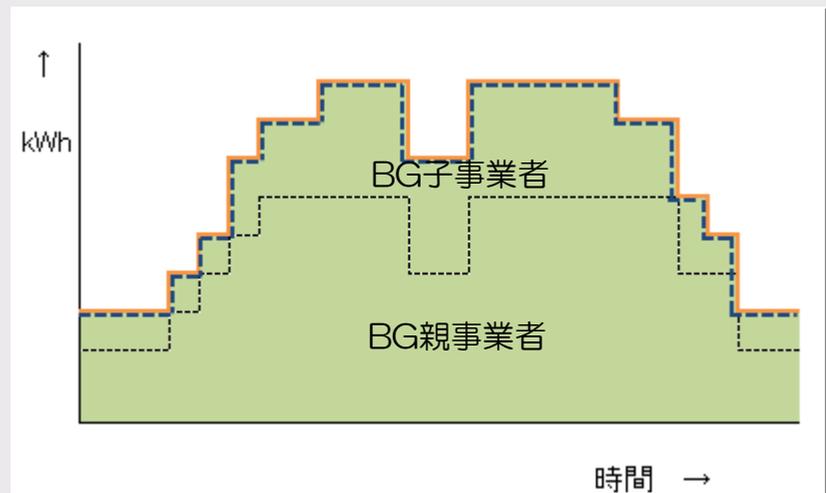


需要BGの子事業者
の需要計画の見直し
をしていなかった。



改善例

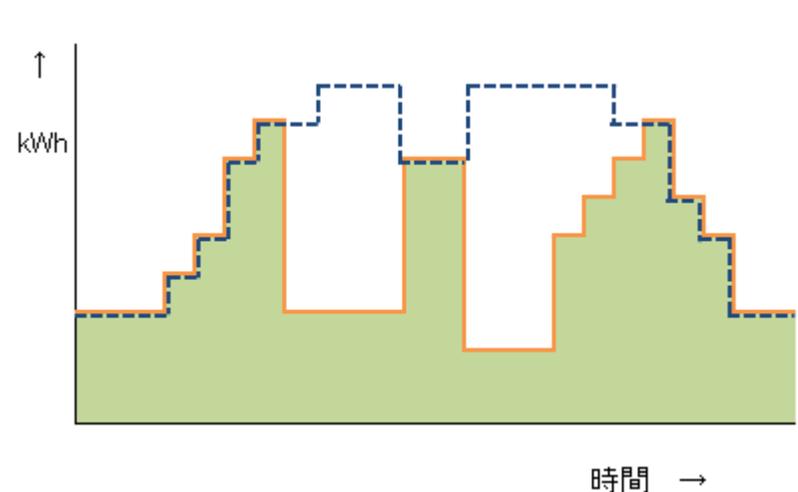
需要BGの子事業者から、同時同量支援データや需
要実績値を提供いただくことを徹底し、子事業者
の需要計画の精度を高めた。



2 調達計画

事例

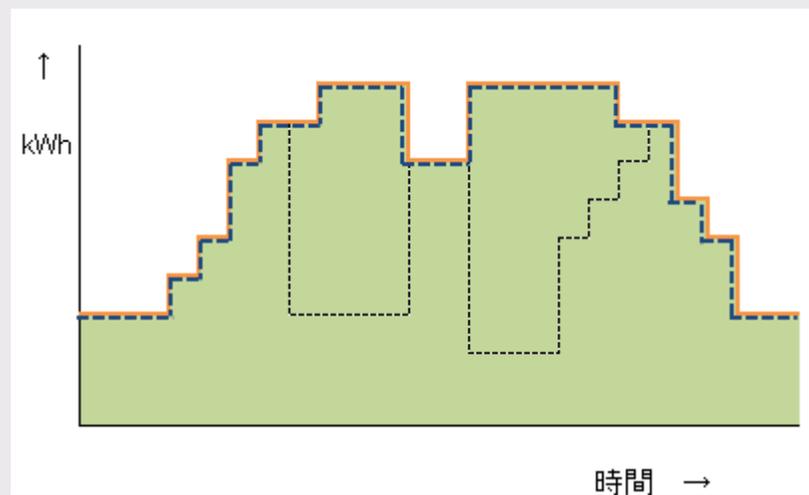
調達過不足を需要計画で調整し
不一致が発生しないことを優先
するシステムとしていたため、
不自然に屈曲した需要計画を提
出していた。



改善例

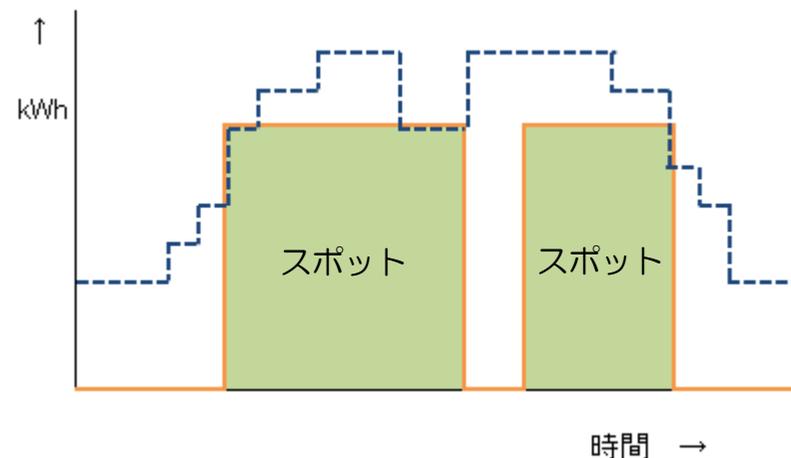
(システム改修前)
予測した需要計画と調達計画の乖離を都度チェッ
クし、時間前で不足分を調達するようになり、
スポット入札価格を日々調整して調達不足が起き
ないようにした。

(システム改修後)
需要計画が調達計画に自動調整されないようシ
ステム改修を行った。また、需要計画と調達計
画の乖離を都度チェックし、時間前で不足分を
調達するようになり、スポット入札価格を
日々調整して調達不足が起きないようにした。



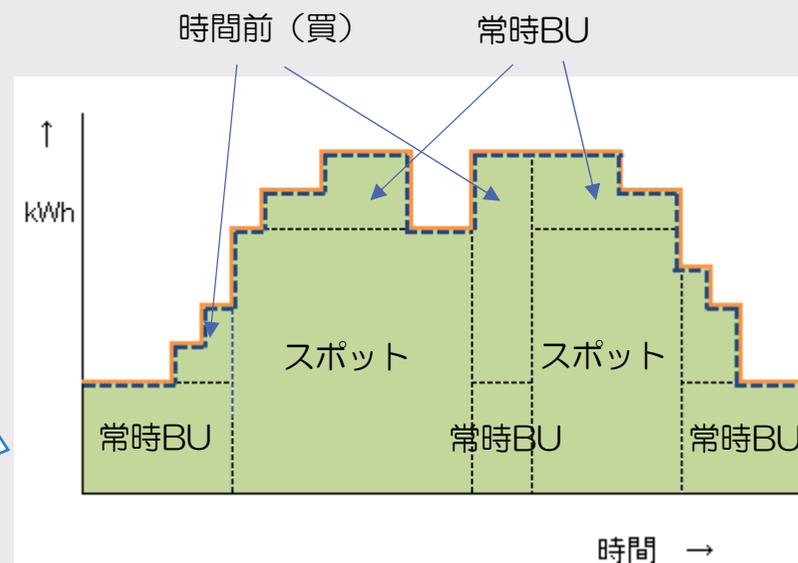
事例

スポット市場のみから調達しているため、調達過不足となった場合の調整ができず、過不足分は需要計画を修正するシステムとしていたことから、ハコ型の需要計画を提出していた。



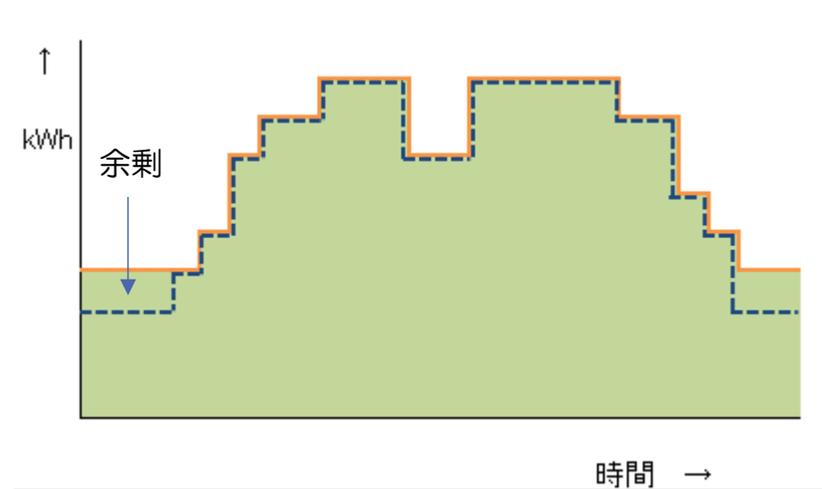
改善例

- ① スポットで約定できなかった場合、不足分を常時BUと時間前市場から調達するようにした。
- ② スポットの最低取引単位 (500kWh/コマ) に満たない場合、不足分を常時BUと時間前市場から調達するようにした。
- ③ 常時BUの契約電力を増加した。
- ④ 相対契約 (調達、販売) を増加した。



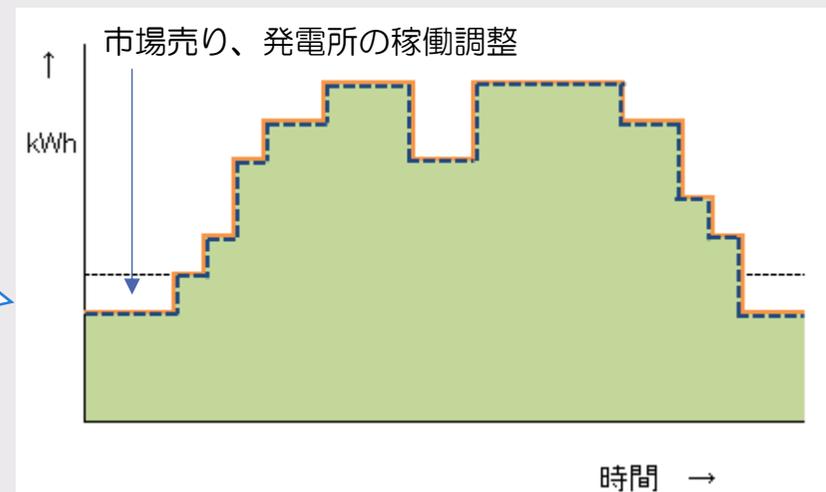
事例

夜間に供給力が余剰となっていたが、そのままにしていた。



改善例

- ① 余剰分をスポットや時間前市場に販売するようにした。
- ② 契約している発電所の稼働を調整するようにした。

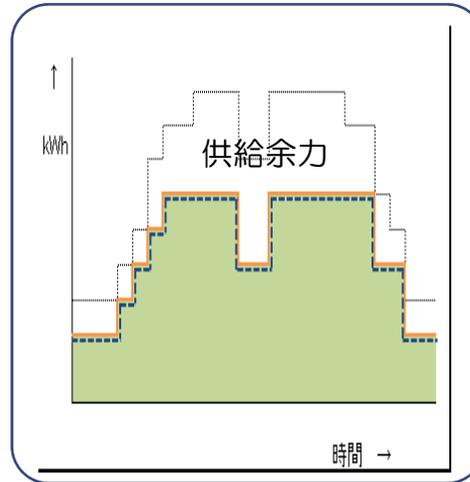


事例

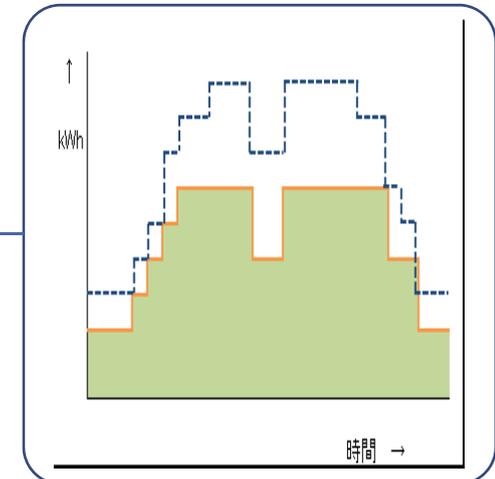
供給力に余力のあるエリアと、供給力が不足するエリアがある。



Aエリア (供給力 > 需要)



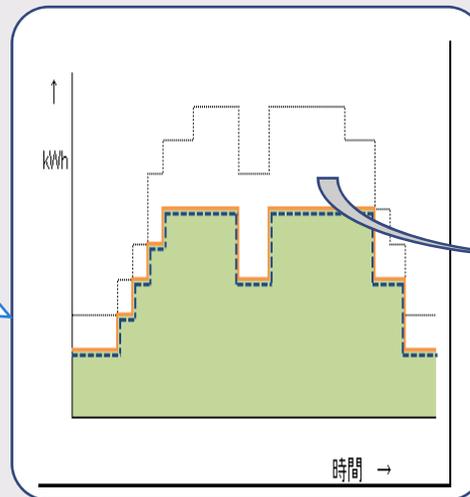
Bエリア (供給力 < 需要)



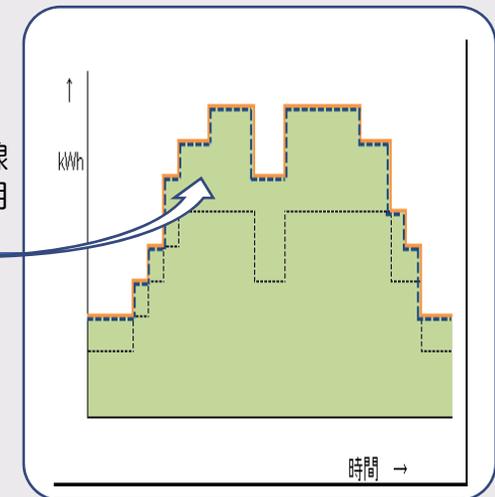
改善例

連系線の空容量を使って、供給力に余力のあるエリアから、供給力が不足するエリアに供給力の余力分を流し、2エリアをバランスさせた。

Aエリア
(供給力 - 連系線利用 = 需要)



Bエリア
(供給力 + 連系線利用 = 需要)

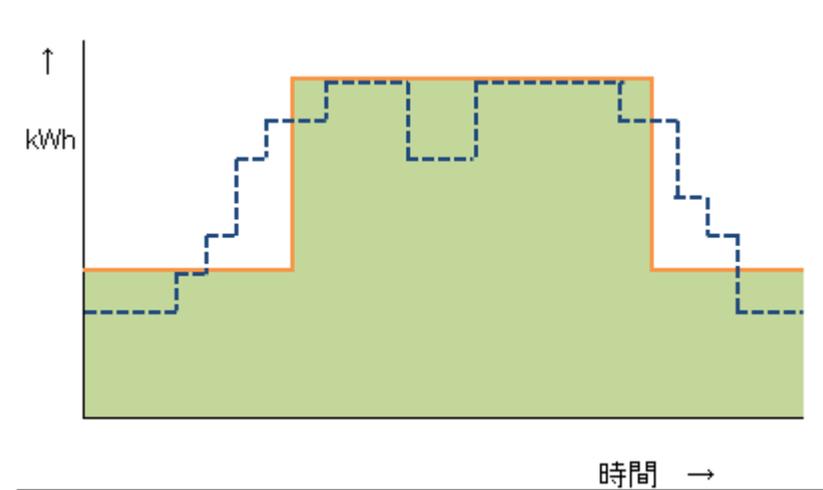


連系線
を活用

3 需給管理

事例

需給管理の担当者は、計画提出で手一杯で、時間前取引を活用できず、需要予測の精度向上にも取り組めなかった。



改善例

- ① 需給管理の担当者を増やし、運用体制の整備、作業輻輳時のサポート強化を行った。
- ② 営業時間外に時間前取引を活用出来る体制を整えた。
- ③ 監視頻度を上げ、需要の変化を計画に反映させる監視体制を整えた。
- ④ マニュアルを整備し、需給管理の担当者への教育を実施した。

